
所 属 : 芸術学部 美術学科 彫刻専攻
職・氏名 : 教 授 伊東 敏光
研究キーワード : パブリックアート、風景彫刻

■研究テーマ

① テーマ：パブリックアートの研究

概要：現代社会におけるパブリックアートの意味と役割を、アメリカ、ヨーロッパ等の事例調査を基に考察し、現代の都市が必要とする新しいパブリックアート（主に彫刻）を具体的に提案します。

② テーマ：「風景彫刻」-風景をモチーフとした彫刻-

概要：芸術表現の対象として、風景は限りなく魅力的なモチーフですが、古今東西の彫刻作品を観るかぎり、具象表現として優れた作品は人体か動物に偏り、風景を題材とした彫刻はほとんど見当たりません。「風景彫刻」の研究では、地域の風土や景観を調査し、それぞれの場所性を生かした作品プランを、理論と実践（作品制作）の両面から研究していきます。

■研究テーマの応用例

今日では都市環境の整備にあたり、公共空間に芸術作品を設置し、創造性に富んだ文化的な環境をつくり出そうという活動が、多くの都市で試みられています。しかしそれを実現させるためにはパブリックアートに対する専門的知識と長期的展望が必要です。また、パブリックアートの中でも、その都市の特徴や歴史を象徴するモニュメント（彫刻）は重要な分野であります。「風景彫刻」-風景をモチーフとした彫刻-は、都市のモニュメントを創作する上で非常に有効であると考えます。応用例としては、それぞれの都市の特長を一つの彫刻を通じて表現し、パブリックアートとして提案し制作することが出来ます。



作品例: 香川県小豆島町にて展示 「潮耳荘」

■想定される連携先

・各地域団体や地方自治体 ・公的研究機関：瀬戸内国際芸術祭実行委員会、フェアマウント パーク アート アソシエーション（アメリカ、フィラデルフィア） ・教育機関・財団等